

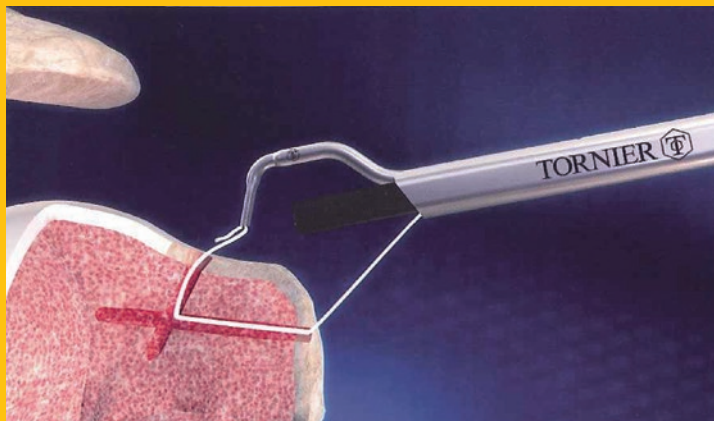
ArthroTunneler[®]

Arthroscopic Transosseous Rotator Cuff Repair System

アーストンネラー



ArthroTunneler® は関節鏡視下 Transosseous 法



ArthroTunneler® は、関節鏡視下で交差する骨トンネルを作成し、そのトンネルへ複数の縫合糸を通すことができる滅菌済みシングルユースのデバイスです。

アンカーを使用せず且つ容易に、関節鏡視下 Transosseous 法による腱板修復術を行うことができます。

- 「Gold Standard」である Transosseous 法が鏡視下で可能に
- 腱板のフットプリントの解剖学的再建
- 縫合糸のみの固定が可能で再手術の際のアプローチが容易に

解剖学的にデザインされた先端部およびフックにより、大結節内での触知およびポジショニングが可能

流線型デザインにより、標準的なポータルからカニューラなしで簡単に挿入可能



患者の解剖学的構造の適合に配慮した外側トンネル用アンビル

強固なニチノール製ループにより縫合糸を繰り返し通すことが可能

最も理論的な腱板修復術

Dr. Neer が提唱した「Gold Standard」たるオープン Transosseous 法による腱板修復術の原理は、腱板のフットプリントの接触と圧着を再現し、さらに骨トンネルの骨髄成分により生物学的治癒を促進することです。

Arthro Tunneler® により、このオープン Transosseous 法が、低侵襲的な関節鏡視下で実現可能となりました。

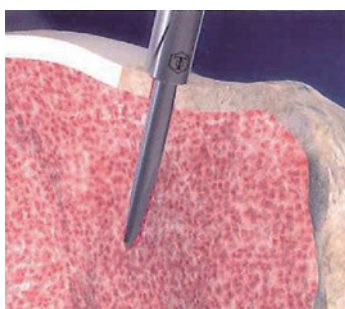
—SUMANT G. "BUTCH" KRISHNAN, M.D.

骨トンネル作成デバイスです

Infinite Possibilities of Repair Mastery



The Only Limitation is Imagination



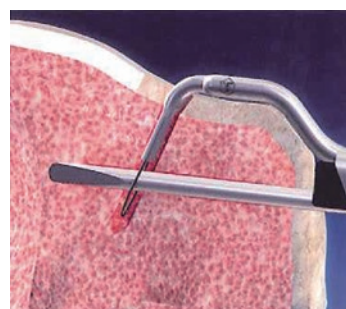
手順 1

ドリルガイドおよび2.9 mm Drill-Mを使用して、停止位置まで内側トンネルを作成します。断裂サイズおよび最終的な修復デザインに応じて、追加のトンネルを作成します。



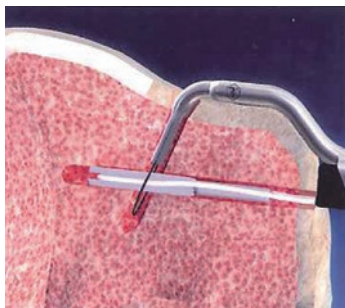
手順 2

フック先端部を内側トンネルに挿入し、フックのトップバーが、フットプリントと同じ高さで並行になるまで挿入します。



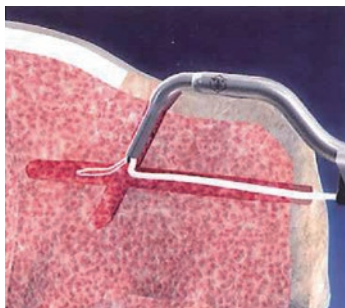
手順 3

ニチノール製ループを内側トンネルで広げます。2.5 mm Drill-Lをアンビルの挿入、ループ内を通過し停止位置までドリリングして、外側のトンネルを作成します。



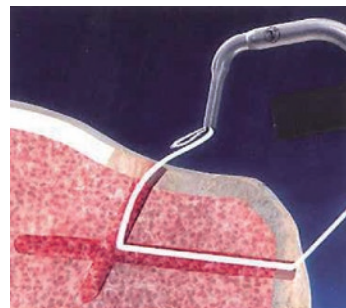
手順 4

2.5 mm Drill-Lを抜き、縫合糸を設置した縫合糸インサーターを挿入します。



手順 5

縫合糸インサーターを抜き、ニチノール製ループを閉じて戻し、縫合糸を保持します。



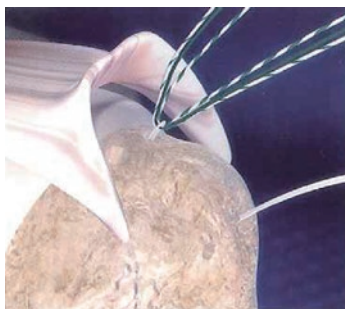
手順 6

アンビルの引き戻し、ArthroTunneler®を縫合糸ループと共に引き抜きます。



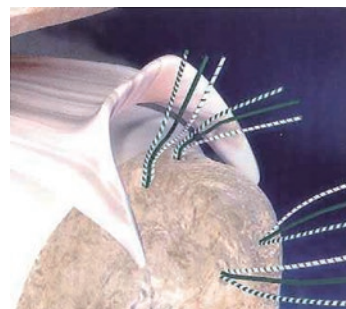
手順 7

ニチノール製ループを広げ、縫合糸ループをArthroTunneler®から取り外します。



手順 8

腱板に縫合糸ループを通し、それを最終的な修復縫合糸として使用します。あるいは、縫合糸ループに複数の縫合糸を通し、シャトルリレーしてトンネルに通します。

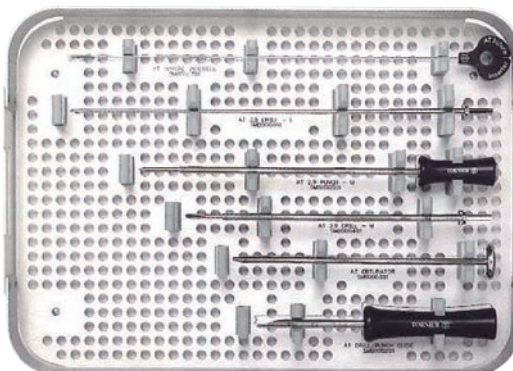
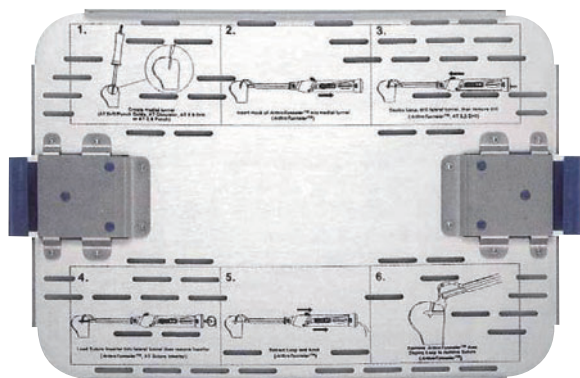


手順 9

追加トンネルごとに手順2～8を繰り返します。患者の解剖・病態にあった技法で縫合糸を腱板に通します。縫合糸を結紮し両端を切り、修復を完了。

Specialists Serving Specialists.

ArthroTunneler® システムのセット内容



ArthroTunneler® 関節鏡視下 Transosseous 法 骨トンネル作成デバイス

カタログ番号	製品名
SMB000101* ¹	アースロトンネラー
SMB000201* ²	AT ドリル/パンチガイド
SMB000301* ²	AT オブチュレーター
SMB000401* ²	AT 2.9 ドリル
SMB000501* ²	AT 2.9 パンチ-M
SMB000601* ²	AT 2.5 ドリル-L
SMB000701* ²	AT スーチャーインサーター

医療機器認証 / 届出番号	販売名
* 1 304AFBZX00026000	アースロトンネラー
* 2 13B1X10209000977	アースロトンネラー器械

Japan

この印刷物はstryker社の製品を掲載しています。全てのstryker社製品は、ご使用前にその添付文書・製品ラベル・取扱説明書をご参照ください。この印刷物に掲載されております仕様・形状は改良等の理由により、予告なしに変更されることがあります。stryker社製品についてご不明な点がございましたら、弊社までお問合せください。

®マークの付いた製品名は、strykerグループの登録商標です。

Literature Number: SM1-18
YN/MI 1m 07/22

Copyright © 2022 Stryker
Printed in Japan

製造販売業者
日本stryker株式会社
112-0004 東京都文京区後楽2-6-1 飯田橋ファーストタワー
P 03 6894 0000

www.stryker.com/jp